

SOIL APPLICATION

S

土壤散布資材



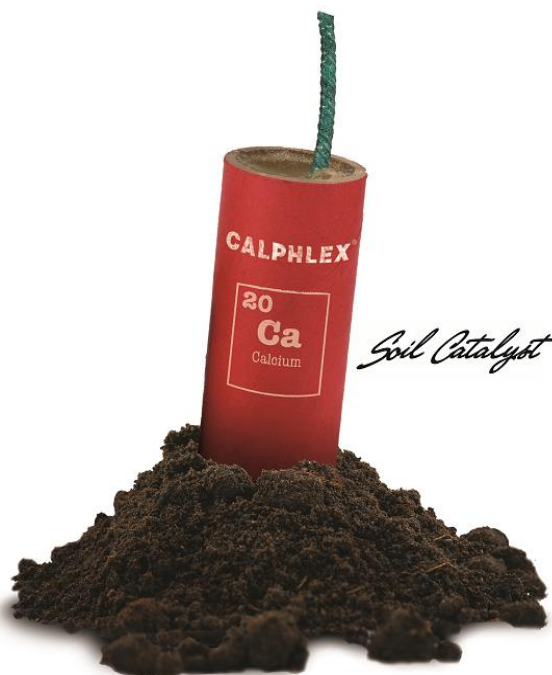
*Rooted in Science*

# カルフレックス

- ◆ カルフレックスは、特殊な有機酸キレートを施したカルシウムを利用し、土壤の置換性栄養素バランスを矯正すると同時に、カルシウムをはじめとする可給態陽イオン栄養素の補給を行います。
- ◆ カルシウムは植物の成長に不可欠の要素で、土壤が健全に機能するためにも有効な元素です。しかし、石灰や顆粒状資材の散布では、吸収可能なカルシウムの速やかな補給はできません。又、置換性カルシウムの過多は、他の栄養元素との化学結合、pH の高め誘導、不適切なカル・マグ比などの弊害を併発することもあります。

## カルフレックスの効果

- 土壤内カルシウムの有効利用
- 置換性栄養素を可給態栄養素に転換
- 塩基飽和度のバランス調整
- ナトリウム過多の改善
- 土壤 pH の改善



- ◆ カルフレックスは、多層有機酸キレートを施したカルシウムを用い、土壤内の置換性栄養素を可給態に変換します。これにより、土壤コロイドに付着した陽イオン栄養素(Ca, Mg, K, Na 等)を有効利用します。
- ◆ カルフレックスのカルシウム含有量は 8%ですが、それよりも遥かに多量のカルシウムやマグネシウム等を有効利用します。

# カルフレックス

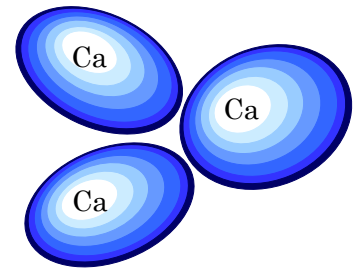
カルシウムは芝草の健康を維持する上で、欠くことの出来ない、最も重要な元素の一つです。

その主な働きは：

- 芝草の健康維持
- 健全な土壌構築
- 細胞分裂・形成
- pHの調整
- 酵素の新陳代謝促進
- 飽和度バランスの是正
- でんぷん形成
- 水分・栄養素の供給
- 芝草の蒸散・呼吸反応の活性維持

## 成分表

カルシウム (Ca) .....	8.00%
規格 .....	10L×1
比重 .....	1.411 kg / L



## プロ使用ガイドライン

推奨施用量 : 0.50~1.00ml / m<sup>2</sup> (定期施用)  
2.00~4.00ml / m<sup>2</sup> (フラッシング)

散布間隔 : 14日 (※効果の持続期間は土壌環境などによって異なります)  
※フラッシングの場合は必要に応じて適宜

推奨散布水量: 80ml / m<sup>2</sup>以上 (※後散水をしてください)

投入順序 : ③

- ◆ カルフレックスは土壌散布用の資材でシーズンを通して散布できます。
- ◆ 土壌中のカルシウムが 500ppm を超える場合に、最も効果を発揮します。
- ◆ サンドグリーンの場合は、施用量を軽めで、散布頻度を増やして下さい。(14日間隔)

## 使用上、保管上の注意：

- 投入前に容器を良く振って下さい。希釈準備した溶液はその日のうちに使い切して下さい。
- 他資材との混合使用が可能ですが、混合適正を試してからご使用下さい。
- フミン酸を含む資材、強酸性の資材、液肥との混合使用は避けて下さい。
- 混合使用の詳細は「タンクミックスの手順」(別紙)を参照して下さい。
- 攪拌を開始したら散布するまで、攪拌機は回し続けて下さい。
- 5℃以下の保管は避け、開栓後は早く使い切して下さい。

Ver. 2016.01.05



Rooted in Science

フロラティン・ジャパン株式会社

〒104-0042 東京都中央区入船 2-10-7-4F

TEL: 03-3523-4882 FAX: 03-3523-4883

取扱代理店